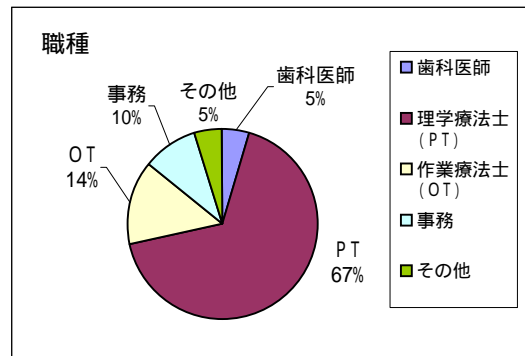


# 北海道リハビリテーション支援センター研修会アンケート集計結果(平成20年研修会)

アンケート回答者数 21 名  
 回収率 37.5 % (21 / 56)

## 【あなたの職種は】

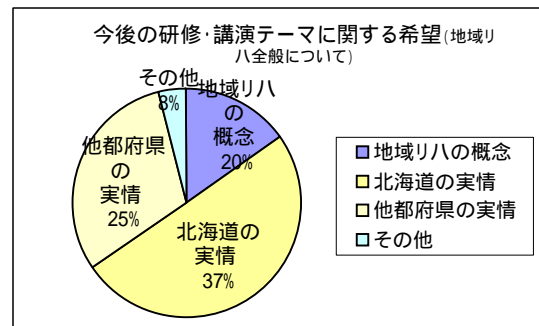
歯科医師	1 名
理学療法士 (PT)	14 名
作業療法士 (OT)	3 名
事務	2 名
その他	1 名



## 【今後の研修・講演テーマに関する希望】

### 1. 地域リハビリテーション全般について(複数回答)

地域リハの概念	4 件
北海道の実情	13 件
他都府県の実情	8 件
その他	1 件



### 2. 対象してほしいテーマ

発足時点で医師や行政が実質的に参加していなかったのに、その後参加を得られるようになった圏域があれば、その経緯を聞いてみたい。大阪以外(今までの紹介以外)の都府県の取り組み状況を、現場の人の立場からお聞きしたいと思います。

広域支援センターの役割など。

医療・介護・福祉の連携が重要かつ緊急課題だと思う。推進会議としてどのような取り組みをしたら良いかできれば具体的お願いしたい。道内でも地域ごとに事情が違うので同じようなパターンの地域ごとに参考になるようにしてほしい。

実際の連携へ向けた取り組みなど、紹介いただきたい。

成功している地域での実践例の具体的な取り組み方の現状・伝達・指導(とにかく具体的に)。

連携について。

方向性や道との協調。

### 3. その他

特になし

## 【今後の代表者会議・研修会についてのご要望】

公的機関の立場からではなく、実際に手足となり活動している人のリアルな取り組みを(他府県)聞いてみたいと思います。大阪府でも立場の違う人から聞く話は、違っているかもしれないと思うからです。

国や道、今後の方向性についての検討。

代表者会議においては、目標を明確にすること、課題の抽出という仕事をこれから各広域支援センターで行わなければならないという、記で終止したと思う。だから、次回の会議ではどんな課題が抽出され、どう解決したかということが聞ければ良いと思う。

会場はわかりやすく統一してもらえるとありがたい。

質問、意見がずらいので、どんどんあてて、進めていただければ色々な意見が聞けて有意義な会になると思いました。

地域により差がある現状を道はどのように考えているのかしっかりした対策・方針を提示するべきだと思う。

北海道全体としての目標や、客観的に評価できる目安を用いた話し合いができればと思います。

3月に実施してほしい。

全保健所担当者の出席を要望。

活動の支援を道で手動してほしい。

## 【その他ご意見】

地域によってマンパワー不足のために目標はかけられても、行動に結びつかないのではないかとと思われるところがあった。広域支援センターの活動が不平等にならないような支援が北海道や保健所、道リハ支援センターによって必要なだろうと思う。今後そのような活動状況に期待して次回の報告などで聞きたい。

よく他地域の実情がわかりました。

行政との連携が取りづらいため、このような会議の場で、保健所の方とやりとりできる機会があると良いと思いました。

他の圏域の活動が参考になりました。